

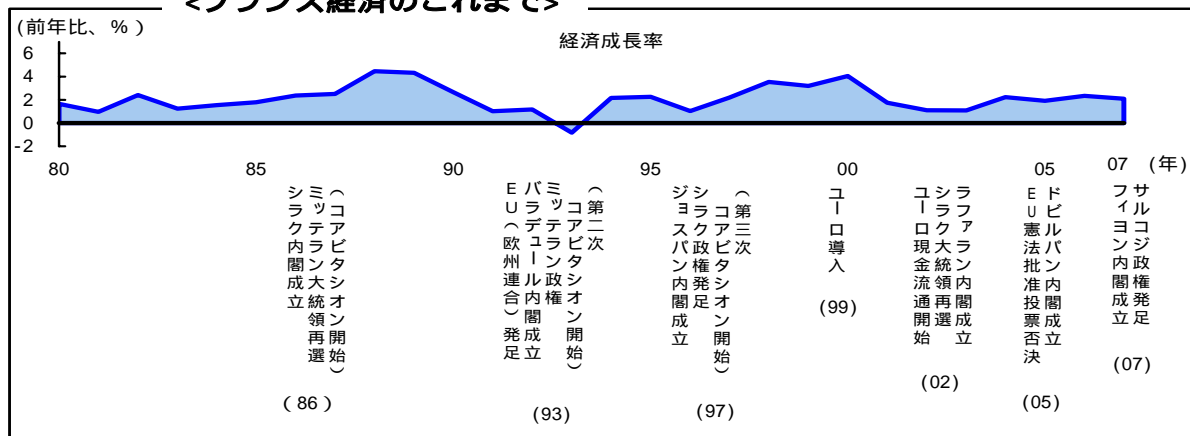
15 フランス

French Republic

<2007年>

人口	6,339万人 (日本の約1/2倍)	財政会計年度	1月～12月
一人当たりGDP	43,264ドル	通貨制度	変動相場制
産業構造(GDP構成比)	1次産業 2.4% 2次産業 22.4% 3次産業 75.2%	通貨	ユーロ
		面積	55.0万km ² (日本の約1.5倍)
			1米ドル = 1.27ユーロ

<フランス経済のこれまで>



フランスの主要経済指標

		97～06年	2007年	2008年見通し			2009年見通し			民間機関見通し
				政府	欧州委員会	IMF	政府	欧州委員会	IMF	
実質GDP	前年比%	2.3	2.1	1.0	0.9	0.8	1～1.5	0.0	0.2	実質GDP
個人消費	同上	2.6	2.5	1.1	0.9	0.8	1.9	0.5	0.4	2008年
固定投資	同上	3.9	4.9	-	0.4	1.1	-	2.3	0.1	平均 0.9
鉱工業生産	同上	1.8	1.4	-	-	-	-	-	-	最大 1.0
消費者物価	同上	1.5	1.5	2.9	3.3	3.4	2.0	1.8	1.6	最小 0.8
失業率	%		8.3	-	8.0	-	-	9.0	-	
経常収支	億ユーロ		227	-	-	-	-	-	-	2009年
	(GDP比)%		(1.4)	-	(3.5)	(2.8)	-	(3.7)	(2.7)	平均 0.4
財政収支	億ユーロ		-	-	-	-	-	-	-	最大 0.2
	(GDP比,年度)%		(2.7)	(2.7)	(3.0)	(3.3)	(2.7)	(3.5)	(3.9)	最小 1.0
政府債務残高	億ユーロ		-	-	-	-	-	-	-	
	(GDP比,年度末)%		(63.9)	-	(65.4)	(65.2)	-	(67.7)	(67.5)	(22社)

(備考) 1. フランス国立統計経済研究所(INSSEE)、欧州委員会等より作成。政府見通しは09年度予算資料(2008年9月)、欧州委員会は“Economic Forecasts”(2008年11月)、IMFは“World Economic Outlook”(2008年10月)による。

財政収支、政府債務残高の実績は欧州委員会の数値。

2. 欧州委員会及びIMF見通しのうち、消費者物価は総合消費者物価指数(Harmonised index of consumer prices)の数値。

<2008～09年の経済>

2008年の経済成長率は1%程度となる見込みである(政府見通し1.0%(08年9月時点)、民間22社の平均0.9%(08年12月時点)前回見通し(08年5月)に比べて大幅に下方修正)。個人消費、住宅投資の減速により、4～6月期に経済成長率は前期比年率1.1%と減速した。さらに、08年後半は景気後退の中、自動車産業を始め鉱工業生産が大きく落ちこんでいる。政府は10月に銀行に対し400億ユーロの資本注入枠を設ける金融危機対策を発表、12月には自動車産業の支援を含む260億ユーロの経済対策を発表した。これらの対策により、08年及び09年の財政赤字は安定成長協定に定められたGDP比3%を超過する見込みとなっている。

09年は固定投資の大幅な減少や、主な輸出先であるユーロ圏経済の減速で外需が減少するとみられることから、0%近傍の成長が見込まれる(欧州委員会見通し0.0%、IMF0.2%、民間22社の平均0.4%)。ただし、金融危機の影響が深刻化・長期化すれば、景気が下振れる可能性もある。